

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ピノキオ幼児舎荻窪保育園
法人名	株式会社ピノーコーポレーション
法人所在地	都杉並区高円寺南4-26-16 ビクトリフ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

小学校を知ろう

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
自園では5歳児が1名しかおらず、日々の生活の中で小学校に向けての思いを友達と話したり、考えたりする場面がなかった。そのため、小学校についての関心が薄い様子も見られた。小学校への期待やあこがれがますきっかけ、同年代の友達と話したり考えたりする機会を作ることも目的としてテーマ設定を行った。

2. 活動スケジュール

- ①2月 他園（二園）と交流会も兼ね小学校についてみんなで一緒に考えてみる。
- ②小学生と一緒に小学校でできること、どんな場所なのかを考えてみる（3月25日に実施予定）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) 模造紙、学校のイラスト、色付きの紙（ピンク、黄色、みずいろ）、色鉛筆、養生テープ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

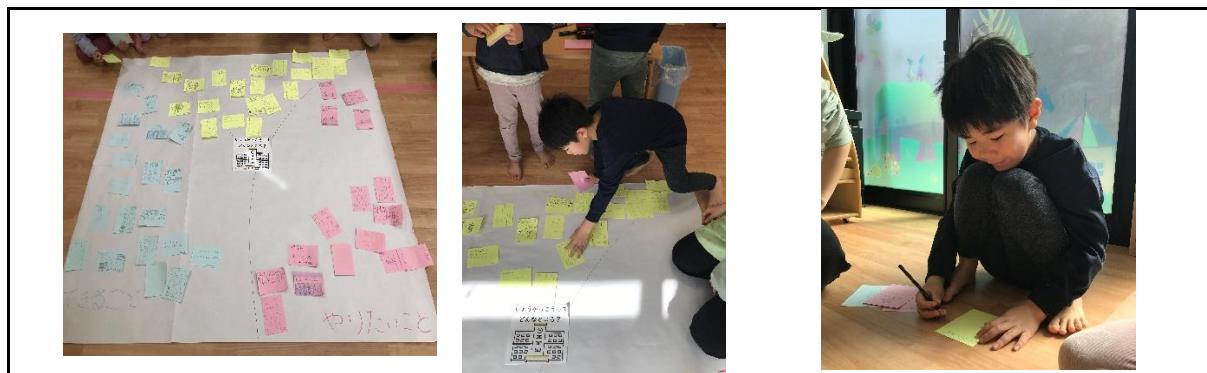
①みんなで小学校について考えてみた。ピンクの紙には「小学校に行ったらやりたいこと」、水色の紙には「小学校に行ったらできること」、黄色の紙には「小学六年生になったらなりたい姿」を絵や文字にして表し一つの模造紙に貼っていた。友達と話をする中で「自分も」とやりたいこと、できることが見つかり、個々の中で学校へのイメージが広がり付箋が増えていった。また、予想以上に「どんな姿になりたいか」をイメージしている児が多く、小学校への期待を感じられた。

②小学校にはどんな場所があるか、どんなことができるのかを実際に小学生も交えて書き出し、小学校へのイメージ、期待をさらに高めていく。（今後実施予定）

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

①色ごとの紙に小学校について書いている中で「それもある！」とイメージが湧いたり、友達の意見を参考に自分なりにイメージを広げていたりしていた。保育者も子ども達と一緒にになって考えて参加することで同じ目線に立てるように関わった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

①小学校でやりたいことがたくさんあることを知れてよかったです。中々、書きたいものが分からず手が止まってしまう子もいたが問いかけていく中で自分で見つけて書くことが出来ていたので良かった。子ども達の中で保育者が想像する以上に小学校への期待やイメージが膨らんでおり、そうしたものを可視化することで子ども達の小学校への期待がさらに高まっていることを感じた。